

農地・水・環境 だより【第20号】

〔 栃木県農地・水保全管理支払交付金通信 〕

平成26年3月

編集・発行 栃木県農地・水・環境保全向上対策推進協議会 〒321-0901 宇都宮市平出町1260

TEL : 028-660-5702 FAX:028-660-5713 E-mail : kallnshien@tcgdoren.or.jp

URL : <http://www.tcgnouchimizu.net/>

平成26年度から【日本型直接支払い制度】多面的機能支払制度が始まります。

栃木県における多面的機能支払制度の取組について

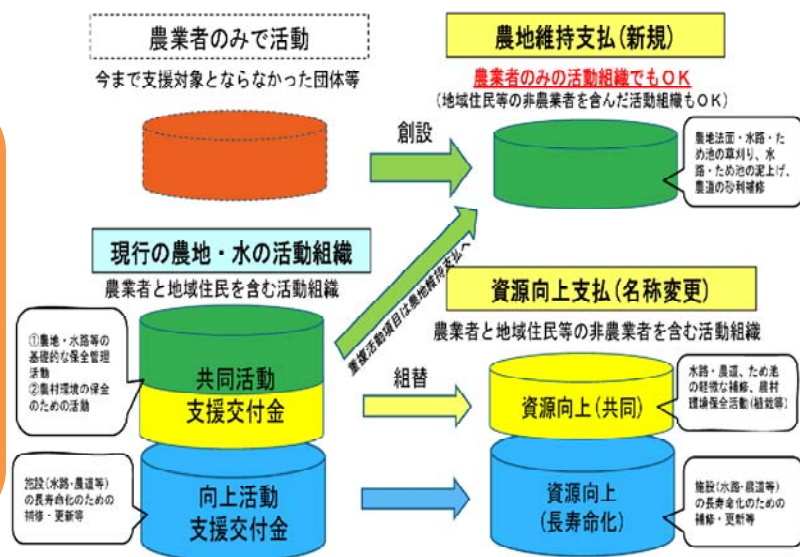
(基本的考え方)

- 集落機能を高めることで、農業・農村の持つ多面的機能の維持・発揮と、担い手への農地集積を推進するため、農地維持支払を中心として推進します。
- 現行の農地・水保全管理支払で行っている本県独自の生きもの調査を発展させ、「エコ農業とちぎ」の一層の推進を図ります。

対象とする地域(以下のすべてを満たす地域)

- 人・農地プランの作成地域で、担い手を中心として農業の構造改革に積極的に取り組もうとする地域
- 耕作放棄地を含む地域においては、協定期間に解消を図ることができる地域
- 多面的機能を発揮させるための農村資源の保全管理構想を策定するとともに、**生態系保全活動**に取り組む地域

1つ以上の活動を毎年実施します



活動内容

①農地維持支払(農業者等の組織)

主な対象活動： i) 農地法面の草刈り、水路の泥上げ、農道の砂利補充等 ii) 地域資源の保全管理構想の作成等

資源向上支払(非農家を含む組織)

②資源向上支払(共同活動)・・・地域資源の質的向上を図る共同活動

主な対象活動： i) 水路、農道、ため池等の軽微な補修 ii) 植栽による景観形成、ピオトープづくり等、農村環境保全活動 iii) 多面的機能の増進のための活動

③資源向上支払(長寿命化)・・・施設の長寿命化のための活動

主な対象活動：農業用水利施設等の補修、更新、農道舗装等

現農地・水の共同活動に取り組んでいる地域は、①+②の活動に取り組むことを基本とします。

交付単価

国・県・市町の合計額 (単位：円/10a)

地目	①農地維持支払	②資源向上支払(共同活動)	③資源向上支払(長寿命化)
田	3,000	1,800(1,500)	4,400
畑	2,000	1,080(900)	2,000
草地	250	180(150)	400

②資源向上支払(共同活動)で多面的機能の増進を図る活動に直ちに取り組めない地区については、交付単価に5/6を乗じた交付となります。

()内は、5/6単価

栃木県では、

②資源向上支払(共同活動)の単価について、活動期間に関わりなく、上記のとおり同一の単価とします。

③資源向上支払(長寿命化)については、現農地・水の協定の中で、向上活動支援に取り組んでいる区域において、平成28年度までの協定期間に限り、支援対象となります。(復旧活動支援を含む)

「とちぎの農地・水保全対策フォーラム」が開催されました

平成26年2月6日、宇都宮市文化会館において「とちぎの農地・水保全向上対策フォーラム～おれらがまもっぺ！ふるさとのきれいな田んぼや水！～」を開催しました。また、農地・水保全管理支払交付金に係る生きものマップコンテストの表彰式と啓発パネルを展示しました。

まず、那珂川町在住の「馬頭の歌姫」こと岡倉ゆかりさんによる美しい里山の情景が浮かぶ様なコンサートが行われました。

フォーラムには、県民・活動組織および国・県・市町・改良区などから700名の方が参加し、講演やパネルトークの話を熱心に聞き入っていました。

第1部 生きものマップ表彰式

審査委員長：宇都宮大学名誉教授 水谷正一氏

「生きもの調査をとおして、マップづくりに取り組むことは、生きものをはじめとした地域環境への”まなざし”を育むとともに、地域コミュニティの充実にも繋がるものです。今後とも、多くの参加者のもと、楽しみながら生きもの調査等に取り組んでいただき、未来の子供達に豊かな農村環境を残していただきたいと思います。」と講評がありました。

第2部 基調講演 『魅力ある農村を未来へ繋ぐ農地・水保全活動』

農研機構農村工学研究所 石田憲治氏

長い年月をかけて農村地域の暮らしと農業の営みによって育まれた「宝物」を守り、新しい「価値」を付加しながら次世代に繋いでいく農地・水保全活動の役割は極めて大きい。今後は、「農業者」のプロの技を發揮して農業生産性を高める活動と「農業を応援したいという志を持った人」とともに行う資源管理活動を通して、**生産性の高い農業と豊かな暮らしと自然**を次世代に継承していく取り組みの両方を強化していくことが、より地域の活性化になると述べられました。

第3部 パネルトーク テーマ『農地・水活動と地域づくり』

「地域づくり」をするうえで欠かせないのが「**仲間づくり**」との観点から、3人のパネラーからは「一緒に楽しめることから始める」「できるところから始める」「地域において、人の悪口は言わない」「とにかくみんなで仲良くやる」「行政の協力があることで、地域の人に参加しやすくなる」などの仲間づくりの参考になる意見をいただきました。そして、最後に、各パネラーから夢を語っていただきました。

コーディネーター：水谷 正一 氏（宇都宮大学名誉教授）

パネラー：荒井 一夫 氏（金田北部地域環境保全会）

パネラー：池田 貞夫 氏（富屋西部ホテル愛護会）

パネラー：松本 治 氏（東生井ひばりヶ丘の里）

アドバイザー：石田 憲治 氏（講演者）



大久保会長による開会



馬頭の歌姫 岡倉ゆかりさん



石田憲治氏による基調講演



パネルトークの様子

今回のフォーラムは、「農地・水活動と地域づくり」について考え、地域づくり・人づくりに生かしていくことを目的に開催しました。参加された皆様には、これからの活動のヒントがあったと思います。今後の活動の充実期待しております。



会場の様子

田んぼまわりの生きものマップコンテスト受賞作品

栃木県では、全国で唯一すべての活動組織が「田んぼまわりの生きもの調査」に取り組んでおり、その結果や生きものの保全に向けた話し合いの内容を「生きものマップ」にまとめることを進めてきました。こうした取り組みを生きもの調査に関わった人だけでなく、私たちの活動を多くの人に知っていただくため、平成20年度よりコンテストを実施しています。

今年度の生きものマップの作品については、12市町の85の組織から96点の応募がありました。平成25年12月に県農地・水第三者委員会委員等や県、県協議会による審査を行いました。

審査員からは、各地域の環境や取り組みが実感できるすばらしい作品ばかりで甲乙つけがたいという言葉をいただきました。



優秀賞

グリーンパワー下初田（小山市）



最優秀賞

寒川花桶の郷（小山市）



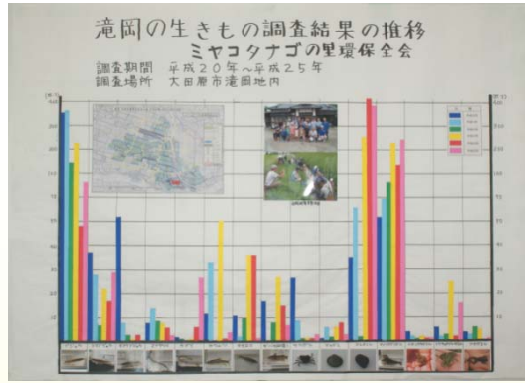
優秀賞

立木上 立木塾（小山市）



優秀賞

小泉環境保全会（益子町）



優秀賞

ミヤコタナゴの里環境保全会（大田原市）



審査員特別賞

西山田自然環境保全会（栃木市）

栃木市立大平西小学校（栃木市）



審査員特別賞

チーム清南夢畑（宇都宮市）



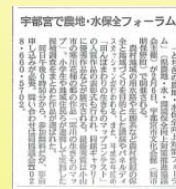
新聞に掲載されました



日本農業新聞 1月21日



朝日新聞 1月24日



産経新聞 1月27日



下野新聞 2月5日

活動組織からの声



下芳井ほたるの会

	協定農用地	対象面積
田	2,452 a	2,452 a
畑	141 a	141 a
	2,593 a	2,593 a



共同活動を通じて、県内各地域で様々な取組が展開されています。そこで、活動組織間の情報共有と組織運営の充実に役立てていただくため、地域の取組成果やこれまでの苦労話、今後の抱負など紹介します。「**下芳井ほたるの会**」は、那珂川町の北西部に位置する活動組織です。当組織の特色ある活動として、養蜂が挙げられます。養蜂は、農地・水事業がきっかけとなりはじまりました。空き地に花を植栽する際「花がたくさん咲くのであれば、ミツバチを飼ってみてはどうだろう」という意見が出たからです。しかし、まったくゼロの状態から始めたため、情報の収集がとても大変でした。養蜂を行う上で最も重要なことは「周囲に蜜源があるか」という点です。ミツバチが蜜を集める場所は養蜂箱から2km程度といわれています。そのため、地域に密着した形で行う農地・水事業の花植栽と養蜂の相性はとても良いと考えられます。

手さぐりの状態から始めた活動でしたが、当組織では農地・水事業で植えた花により、蜜源を確保できたことから、初年度から大成功を収めることができました。養蜂は季節が巡るごとに発見があり、学ぶことがあり、非常に奥が深いと感じました。できたハチミツは、組合員みんなで楽しみます。パンに塗ったり水で割ったり、ハチミツの使い方は様々で、大人から子供まで夢中になりました。なにより、自分たちで絞ったハチミツの味は格別です。



また、ミツバチが受粉を助けるのか、近隣の作物の発育が良くなったのも、嬉しい誤算でした。

下芳井ほたるの会は、今後も地域で楽しめる活動を行い、大人から子供が一丸となって、自然と人の調和を守っていきたいと考えています。



生きものシリーズ



トウキョウダルマガエル (絶滅危惧種 C ランク)

栃木県では「トノサマガエル」と呼ばれることが多いですが、「トウキョウダルマガエル」が正解です。トノサマガエルは、関東平野と仙台平野を除く本州、四国、九州に分布しています。トウキョウダルマガエルは、跳躍力があり水中に逃げるとじっと身を潜めていることが多いです。田んぼが大好きで、水かきが発達しています。

お知らせ！！

県協議会のホームページを
リニューアルしました。

<http://www.tcgnochimizu.net/>



- 体調：4.0～8.5 cm
- 繁殖期：4～7月
- 産卵場所：田んぼ・湿地・池